

通告内容

**1 本市の持続可能な医療・介護体制の在り方について**

- (1) 高齢化と人口減少で財政運営が厳しくなると予想される国民健康保険事業及び介護保険事業の財政状況及び第3次総合計画期間の介護保険料及び国民健康保険税の見積りを示せ。
- (2) 両事業に係る課題認識と第3次総合計画期間での課題解決のための取組みは何か。
- (3) 介護予防に関わるいちき串木野市のころばん体操等の取組みと成果（介護保険料（766円/月の低下）をどのように評価しているか。
- (4) 持続可能な医療・介護体制の確立のため大学等の最新の研究成果とDXを活用して成果を見える化した医療費・介護費用低減のための市民参加型実証実験（科学的アプローチ）に取り組み、当該成果を段階的に全市民へ普及すべきと考えるが、当局の所見を問う。

**2 第3次薩摩川内市総合計画における医療福祉に関わるDXの具体的な施策について**

- (1) 鹿児島県においては発達障害等の特別支援学級に在籍する児童生徒数が全国（2007年度比3.3倍）に比べ大幅に増加（同年度比7.3倍）しているが、本市における自閉症・情緒障害の児童生徒数の現状を示せ。
- (2) 甕島在住の療育を必要とする子どもへの支援内容を問う。
- (3) 甕島の療育を必要とする子ども及び保護者の負担軽減のためのDXを活用したリモート療育の施策を取り入れるべきと考えるが、当局の見解を問う。

**3 離島及び中山間地域を維持するための新たな社会システムの構築について**

- (1) 道路維持管理（草刈り）に関わる現状について
- (2) 海岸漂着物の処理等の現状について
- (3) 離島及び中山間においては、地域住民のボランティアによる環境整備等の社会インフラの維持が困難になりつつある。このため、各省庁が進める地域活性化の様々な施策を参考に地域社会が雇用を生み存続可能となる新たな社会システムを構築するための机上研究を行い、当該結果に基づきモデル地区において実地に検証プロジェクトをおこなってはどうか、当局の見解を問う。

**4 「結 Line こしき」及び高速船の運賃改定に関わる課題と対策について**

- (1) 運賃値上げに対する影響を軽減するための対策を考えていないか。
- (2) 準住民の認定基準及び現在の認定の状況を示せ。
- (3) 関係人口を確保するためにも島民ではないが、一定期間以上在住し、かつ島民にとって有用な人材も準住民とするなど、認定基準を見直してはどうか、当局の見解を問う。